

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和4年	会計コード	10	一般	事業コード	24687	
事業名	地域ぐるみの学校安全体制整備推進費						
評価担当課	所属名	教)生涯学習部 学校施設課					
	課長名	宮野 純一	担当者名	島名 孝幸	電話番号	011-211-3831	
施策名	主	犯罪や消費生活に関するトラブルの発生が未然に防止されています					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	● 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	登下校時における子どもたちの見守り活動の実施により、日々の安心安全の確保を目的とする。				
		長期	スクールガードの登録がない学校が存在するが、理由として、他の防犯活動がその地域で活発であり、スクールガードの見守り活動と同様の効果が得られるとして登録を行っていない。他の防犯施策と共に本事業も実施することにより、地域防犯の相乗効果も高まることから、引き続き各学校で募集を継続する。				
	取組内容	地域防犯に関する実践的な取り組みを推進するため、防犯ボランティアをスクールガードとして登録し、登下校中の児童の見守りを行い、スクールガードの活動を支援する。また、警察官OBをスクールガードリーダーとして委嘱し学校の巡回指導を行うことによって、地域の防犯に関する実践的な取り組みを推進する。 なお、本事業では主に①スクールガード講習会、②スクールガードリーダー連絡会による情報・意見交換、③スクールガードリーダーによる学校巡回指導と評価等の3つの取り組みを実施する。					
	実施結果	地域の平和、安心安全が保たれている。					
事業実施における工夫点	スクールガードリーダー(元警察官)から、スクールガードや各学校に対し防犯に関する助言等を実施することにより、防犯意識や見守り活動における技術の向上に努めている。						
対象者	地域住民・PTA・教職員			開始	平成17年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等	学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業実施要領						
他都市の状況	他都市においても文部科学省の補助を受けて同様の事業を実施している。						

◎事業費

(単位:千円)

		令和3年度決算	令和4年度予算	令和4年度決算	令和5年度予算
事業費		9,810	7,333	9,707	10,000
うち特定財源		3,730	3,667	3,235	3,333
人工		0.3	0.0	0.0	0.0
人件費		2,160	0	0	0
計(事業費＋人件費)		11,970	7,333	9,707	10,000
事業費 の内訳	令和4年度決算	・ボランティア保険料187, 040円 ・スクールガードリーダー報償費8, 424, 000円 ・スクールガードリーダー、スクールガード装備品1, 046, 474円 ・委嘱状用紙15, 730円 ・その他(ラベル用紙・名刺カード)33, 330円			
	令和5年度予算	・ボランティア保険料231, 000円 ・スクールガードリーダー報償費8, 786, 000円 ・スクールガードリーダー、スクールガード装備品959, 000円 ・委嘱状用紙7, 000円 ・講習会場費17, 000円			

◎検証(振り返り)

活動指標1		指標名	スクールガードリーダー数							
		令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定					
		50	50	50	50					
活動指標2		指標名	スクールガード登録者数							
		令和3年度実績	令和4年度予定	令和4年度実績	令和5年度予定					
		1319	2000	1292	1600					
成果指標1		指標名	登下校中の子どもが不審者による重大被害にあう件数							
		令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標					
		0	0	0	0					
成果指標2		指標名								
		令和3年度実績	令和4年度目標	令和4年度実績	令和5年度目標					
項目	判定	理由								
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	・登下校中の子どもへの、不審者による重大被害の発生が0件だったため。								
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	・不審者による重大被害の発生が0件だったため、事業規模は適切と考える。								
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	・学校、スクールガードリーダー、スクールガード、必要に応じて教育委員会とも連携が取れており、事業の実施手法は適切であると考ええる。								
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	A	・児童の見守り活動をすることで、登下校に関して安心できると学校、保護者から意見があった。								
市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外		市民参加結果への対応		☐ 回答 ☐ 反映					
今後の改善点	・引き続き、スクールガードを増員を目指し、不審者対策を行っていきたい。									
前回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし									
今年度取り組んだ見直し内容	令和4年度は特になし。次年度からスクールガードの新規募集に関して、広報さっぽろを活用する予定。			見直し効果額 (前年度)	0	千円				
今回の評価	☒ A ☐ B ☐ C ☐ 評価省略対象事業・前年度実施なし									
評価の理由	スクールガード増員のための手法等を検討することができたため。									
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	☒ 改善 ☐ 現状維持 ☐ 休止・廃止								
		今後もスクールガードリーダー、スクールガード、各学校と連携を取り、児童の安全を守る活動をしていきたい。								
	予算	☐ 拡充 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ その他			事業内容の検証、成果を踏まえて、適切な予算請求を行う。					
				見直し効果額	0	千円				